

令和7年度 タイ・バンコク都研修 12月10日（水）～12月14日（日）

令和7年12月15日（月）

今年度は、1年生10名、2年生2名、引率教員2名で、タイ・バンコク都研修を実施しました。本研修は3回目となる訪問です。常夏のタイですが、乾期にあたる12月は比較的過ごしやすく、日本の冬とは異なる気候の中で、生徒たちは意欲的に研修に参加することができました。

1日目は、約6時間のフライトでタイに到着しました。翌日からの研修に期待を膨らませながら、夕食にはタイスキーをいただきました。日本の鍋料理に似た料理で、スパイスやハーブの香りが印象的でした。

2日目は、JICA タイ事務所を訪問しました。



JICAがどのような機関であるかを学び、日本にとっての国際協力の意義について理解を深めました。生徒たちは、現地で行われている具体的な支援活動の話に早くから関心を示していました。その後、ノンタブム・ホームを訪問し、現地で活動するJICA隊員の方から説明を受けながら施設内を見学しました。四肢を鍛えるためのトレーニング施設や、視覚障害のある方々の音楽の授業を見学し、音

楽の時間には一緒に「ドラえもん」の歌を歌いました。また、子ども達と塗り絵を行い、共通言語がなくても工夫しながら協力して一つの作品を完成させることができました。



3日目は、姉妹校を訪問しました。タイの民族衣装を着てバンブーダンスやムエタイ、お菓子作りを体験し、昼食には姉妹校のクッキングコースが用意してくれたガパオライスを味わいました。本校からは、英語で日本の昔話『浦島太郎』を紹介し、「だるまさんが転んだ」や盆踊りなどの日本の伝統的な遊びや文化と一緒に楽しみました。生徒同士で土産を交換したり連絡先を交換したり、別れの際には名残惜しそうな様子が印象的でした。その後、アユタヤへ移動し、アユタヤ王朝の遺跡や寺院を見学し、象乗り体験も行いました。夜はアジアティーク・ナイトマーケットにてディナークルーズを楽しみ、ライトアップされたチャオプラヤ川沿いの街並みや、夜空に広がるドローンショーに目を奪われました。無数のドローンが仏像や王族の姿を描き出す様子から、タイの先進的な技術に深い印象を受けました。バンドによる生演奏や歌、ダンスとともに、和やかな雰囲気の中で夕食を楽しみました。



4日目は、午前中に Brother & Sister プログラムとして、現地の大学生と共にバンコク市街を巡りました。トゥクトゥクを利用しながら、大都市バンコクの活気を体感しました。午後は王宮、エメラルド寺院、暁の寺、涅槃寺院を訪れ、ガイドの説明を通してタイの歴史や文化への理解を深めました。

短い3泊5日の研修でしたが、現地の人々との交流を通して文化の違いを実感し、多くの学びを得る貴重な機会となりました。本研修の実施にあたり、同窓会をはじめ多くの方々から多大なるご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。この経験が、生徒たちの将来を考える一助となることを期待しています。

引率教員：英語科 神田瑞歩・大谷暁子